

愛知オトナのマナビ旅

糸と木と土、  
そして  
発酵の物語

Aichi industrial story

# Aichi industrial story

愛知のものづくりの歴史は、「糸」「木」「土」「発酵」から始まる。

伝統産業の隆盛					近代産業勃興ブーム			
室町	安土・織山	江戸			明治			
1500	1600	1700	1800	1860	1870	1880	1890	



三河木綿

綿織物・絹木綿

織維

綿紡績

知多木綿

有松・鳴海絞り • 有松・鳴海絞会館 P.04



綿織物

三河木綿や知多木綿から織物製造がスタート。



有松絞り



• 豊田市小原  
和紙のふるさと P.08

だし山車からくり

からくり人形

IMASEN犬山からくりミュージアム P.08

時計

木曾ひのきなど良材

木材



からくり人形

檜時計

からくり細工から始まった機械じかけの産業が時計産業に発展し、木材加工技術が航空機産業の礎を築きあげた。



愛知県陶磁美術館 P.10

瀬戸焼

七宝焼

• あま市七宝焼  
アートヴィレッジ P.10

やきもの

ノベルティ



瀬戸焼

良質の土からやきものが生まれ、産業や文化が発展。



三州瓦 七宝焼

常滑焼

朱泥の急須

猿投窯  
さるなげよう



大陸より渡来

カクキュー八丁味噌  
(八丁味噌の郷) P.12

• 盛田(盛田 味の館 P.12)

八丁味噌

食品

杉田商店  
——  
(現あいや)  
(抹茶ミュージアム  
「西楽園 和く和く」 P.12)

食酢・酒

• ミツカン  
(MIZKAN MUSEUM P.12)



八丁味噌

愛知県の豆味噌は、岡崎の八丁味噌が代表的。今でも多くの家庭で親しまれる調味料として揺るぎない地位を保っている。

抹茶  
(イメージ)



やきもの、繊維、自動車、工作機械など、愛知県の産業は常に時代をリードしてきた。  
 現在もなお、わが国の産業技術の中核圏域として、人々の豊かな生活文化を支えている。  
 この地の産業技術の歴史は、言い換えれば日本の産業発展の歴史。  
 愛知県の産業発展の経緯を、分野ごとに時系列で整理して振り返る。



糸の章 P.03

木の章 P.07

土の章 P.09

発酵の章 P.11





# 糸の章 ①



## 物語の始まりは、 三河木綿が紡いだ。

### story 01

#### 日本で最初に綿栽培に成功した地

室町時代に三河地方で綿花栽培と綿織物の生産が始まり、「三河木綿」が誕生。その後、江戸時代初期には、農家の副業として「知多木綿」が誕生する。木綿の生産が盛んになると、新たにつくられた茶屋集落、有松で木綿に藍を使った絞り染め「有松絞り」の生産が慶長15年(1610年)にスタート。布をくって染める技法から生み出される緻密かつ複雑な模様が評判となり、東海道を行き交う人々が土産に買い求め、名産品となる。一方、尾西地方は、江戸時代後期に結城紬や寛大寺綿など絹木綿の産地となり、大正時代に機械化の進展と同時に、毛織物の生産が盛んになった。現在も一宮市など尾張西部エリアで製造されるウール生地は「尾州織物」として、その品質は世界的に高く評価されている。環境負荷の少ない素材であるウールの持続可能性を伝え広めるイベント「ひつじサミット尾州」でその魅力を発信する。

#### コラム

つい話したくなる  
小ネタ

#### ガチャマンが生んだモーニング!?

モーニング発祥の地といわれる一宮市。昭和30年代前半、織機のけたたましい音を避け、静かな喫茶店で商談や打ち合わせをするようになった機屋\*さんへのおもてなしとしてスタートしたとか。いまでは、フレンチトーストやケーキ、うどん、おにぎりなどがドリンク代のみでいただける店も。お気に入りの店を探しに、一宮市まで足を延ばしてみは？

\*機(はた)で布を織る職業

### story 02

#### 日本の繊維機械産業の源流を創造

明治29年(1896年)に、豊田佐吉が日本で最初の動力織機を完成させると、知多・西三河地方に広く導入。生産能力がこれまでの20倍に引き上げられたほか、織物品質も飛躍的に向上するなど、日本の繊維機械産業の源流を築くこととなる。その後、大正13年(1924年)には、G型自動織機を発明、完成。自動杼換装置などにより、生産性はさらに大幅に向上した。大正15年(1926年)、自動織機を製造・販売するため、愛知県碧海郡刈谷町(現刈谷市)に豊田自動織機製作所(現豊田自動織機)を設立。昭和4年(1929年)には、世界のトップメーカーであるイギリス・ブラット社に技術供与(特許権の譲渡)、各国の繊維産業の発展に大きく寄与することとなる。



※豊田式汽力織機  
画像提供=トヨタ産業技術記念館

糸からの発展を学べる、産業観光スポットを紹介！

**1 有松・鳴海絞会館**



# 伝統工芸  
# 東海道の町並み  
# 日本遺産の町

**2 一宮市博物館**



# ウールの街  
# 建築家 内井昭蔵  
# 長嶋山妙興報恩禅寺に隣接

**3 トヨタ産業技術記念館**



# トヨタヒストリー  
# 大正時代に建てられた紡織工場  
# 赤レンガの壁  
# ミュージウムカフェ

**4 トヨタ鞍ヶ池記念館**



# 生産台数1,000万台達成記念  
# 旧豊田喜一郎邸移築  
# ラジオリマ

**1 有松・鳴海絞会館**

江戸時代から続く有松絞りの実演、ハンカチやTシャツを使用した絞り教室(有料、要予約)、絞り製品の展示販売などが楽しめる。浮世絵にも描かれた情緒たっぷりの町並みにも注目。

愛知県名古屋市長区有松3008  
☎052-621-0111  
☪年未年始、臨時休館あり



**2 一宮市博物館**

江戸時代後期は綿木綿、明治時代は絹織文織物、大正時代以降は毛織物の産地として発展した一宮市の歴史・文化遺産を紹介。土・日は、はたおり・糸つむぎ体験などにも参加できる。

愛知県一宮市大和町妙興寺2390  
☎0586-46-3215  
☪月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始



**3 トヨタ産業技術記念館**

トヨタ発祥の地に残された、大正時代の工場を活用。機械の動態展示やスタッフによる実演などで、繊維機械や自動車を中心とする産業技術の変遷を分かりやすく紹介する。

愛知県名古屋市区則武新町4-1-35  
☎052-551-6115  
☪月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



**4 トヨタ鞍ヶ池記念館**

豊田佐吉が生涯をかけて発明に取り組んだ紡織機、豊田喜一郎が活躍した創業期の資料、初の純国産乗用車「トヨベクトラウン」[「トヨタAA型乗用車」]などを展示する。

愛知県豊田市池田町南250  
☎0565-88-8811  
☪月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



もっと深く、まだまだ面白い愛知



# 産地直送の洋服店  
# 日本最大の毛織物産地  
# のこぎり屋根工場

**5 尾州のカレント 新見本工場**

老舗機屋の工場内にある洋服店。糸から作り込んだ尾州産生地を使用した洋服を卸値価格で販売するほか、生地を選んでカスタムオーダーができる商品も。木玉毛織の工場見学(1日1回、有料、要予約)では、100年前から続く糸作りのガラ紡体験ができる。

愛知県一宮市西萩原上沼40 木玉毛織内  
☎0586-52-7207  
☪日曜、祝日、年末年始



木玉毛織の工場見学の予約はこちら




# 登録有形文化財  
# 手紡ぎ  
# 知多木綿の作品を販売

**6 手織りの里 木綿蔵・ちた**

豊田佐吉と同時期に、竹内式力綿機の特許を取得した竹内虎王。彼が営んでいた木綿業の倉庫(蔵)を利用した展示体験施設で、知多木綿の機織り体験(有料)ができる。古い町並みが残る岡田地区は、佐吉が織機の研究に来たとも伝えられる。

愛知県知多市岡田字中谷9  
☎0562-56-4722  
☪3月～水曜、年末年始







## 糸の章 ③

# 動力織機開発が 大きなうねりに。

## story 03

### 繊維機械産業から工作機械へ

豊田佐吉による動力織機開発を機に、愛知県では機械産業が盛んになる。明治31年(1898年)に大隈麵機商会(現オークマ)、明治41年(1908年)に安井ミシン商会(現ブラザー工業)、大正8年(1919年)に山崎鉄工所(現ヤマザキマザック)が創業。ブラザー工業は昭和3年(1928年)に麦わら帽子製造用環縫いミシンを完成させ、数年後にはミシン部品であるシャトルフックの量産に成功。国産家庭用ミシンの発展に大きく貢献した。ヤマザキマザックは製量機械の製造に始まり、旋盤などの工作機械の製造を開始。昭和37年(1962年)には、日本で初めて工作機械をアメリカに輸出した。国内4大工作機械メーカーのうち、オークマ、ヤマザキマザック、ジェイテクトの3社が愛知発祥となる。



麦わら帽子製造用環縫いミシン  
画像提供=ブラザーミュージアム

## コラム

つい話したくなる  
小ネタ

### カラオケゲームは名古屋から!?

業界初の業務用通信カラオケ「JOYSOUND」。実は、ブラザー工業の子会社「エクシング」が手がけているのをご存じだろうか？ きっかけは、昭和61年(1986年)に発売した世界初の通信インフラを活用したパソコン用ソフト自動販売機。事業として成功はしなかったが、その技術を生かして業務用通信カラオケを開発した。平成25年(2013年)以降、南極地域観測隊にカラオケ機器を寄贈している。

## story 04

### 次世代モビリティをも牽引する実力

大正15年(1926年)に設立した豊田自動織機製作所の自動車部が初の乗用車、トヨタAA型乗用車を発表したのが昭和11年(1936年)のこと。翌年にトヨタ自動車工業として独立し、翌々年ころもちように(現豊田市)に大量生産の工場が完成する。昭和18年(1943年)にはトヨタ自動車工業と川崎航空機工業(現川崎重工業)が合併で、東海航空工業(現アイシン)を設立。昭和24年(1949年)にはトヨタ自動車工業の刈谷北工場が日本電装(現デンソー)として独立。昭和57年(1982年)に、トヨタ自動車工業とトヨタ自動車販売が合併して、トヨタ自動車が生産する。現在、自動車業界はCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)の技術革新が加速。愛知県の主力産業から生まれる新しい技術に注目したい。

糸からの発展を学べる、産業観光スポットを紹介!

**7 マザック工作機械ギャラリー**



- #モノづくりの母
- #マザーマシン
- #身近な製品と工作機械の関わり

**8 ブラザーミュージアム**



- #足踏みシン
- #ミシンの壁
- #通信カラオケ

**9 トヨタ会館**



- #燃料電池自動車MIRAI
- #生産工程の映像
- #溶接ロボット
- #新型車展示
- #セーフティシミュレーター体験

**10 コムセンター**



- #普段見られない自動車部品
- #歴代製品
- #カットモデル
- #エネルギー住生活ゾーン関連製品

**7 マザック工作機械ギャラリー**

工場で活躍する工作機械が間近で見られる、国内でも珍しい施設。最新の工作機械はもちろん、マシンによって作られた自動車や医療機器などのサンプルワーク約100点を展示。  
 愛知県名古屋市長区葵1-19-30  
 ☎0587-95-1131  
 🗓月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



**8 ブラザーミュージアム**

国産家庭用ミシンの発展に大きく貢献したブラザーの歴代製品を展示し、モノ創りのDNAを紹介。世界初のミシンのレプリカ、世界各国から収集したアンティークマシンも並ぶ。  
 愛知県名古屋市長区瑞穂区堀内町5-15  
 ☎052-824-2227  
 🗓土曜、日曜、祝日、GW、夏期連休、年末年始



**9 トヨタ会館**

トヨタ自動車の“今”が分かる展示館。ハイブリッド技術やエコカー開発の取り組み、燃料電池自動車など最新技術を紹介。実際にさわって乗り込める新型車も多数展示する。  
 愛知県豊田市トヨタ町1  
 ☎0565-29-3345  
 🗓日曜、GW、夏期連休、年末年始



**10 コムセンター**

自動車システムのサプライヤーであるアイシングループの製品や、カーボンニュートラルなどの社会課題への取り組みを紹介。ダイナミックなプロジェクションマッピングも。  
 愛知県刈谷市朝日町2-1  
 ☎0566-24-8600  
 🗓土曜、日曜、アイン休日



もっと深く、まだまだ面白い愛知



- #世界の自動車
- #トヨタ自動車創立50周年記念
- #ミュージアムレストラン
- #ミュージアムショップ

画像提供=トヨタ博物館



**11 トヨタ博物館**

19世紀から現在までの日米欧の代表的な車両約140台、ボスターや自動車玩具、カーマスコットなど自動車にまつわる文化資料約4,000点を展示する。1936年にトヨタ初の生産型乗用車として誕生した「トヨタAA型乗用車」のレプリカも!

愛知県長久手市長横道41-100  
 ☎0561-63-5151  
 🗓月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始







# 木の章

## 木材集積地から 航空機生産拠点へ。

### story 01

#### 木曽の山から届く良質な木材

和紙の原料、コウゾが生育する<sup>おぼろ</sup>小原地区では、室町時代から紙すきが行われてきた。江戸時代に入り、木曾川を利用した水運が盛んになると、慶長15年(1610年)の名古屋城築城に合わせ堀川が掘削。周囲は木材の流通、加工の一大拠点として、桐箆筍、木桶、仏壇などの生産が盛んになった。享保18年(1733年)には東照宮祭の山車が新調され、京から人形師、玉屋庄兵衛を招聘。からくり人形の精巧な技術が時計や鉄道車両、楽器、航空機など、近代産業への足がかりになった。明治20年(1887年)には、鈴木政吉がバイオリンの製作を開始。明治31年(1898年)には、老舗材木商が愛知時計製造(現愛知時計電機)を設立するなど、さらに高度な加工技術が培われることとなる。

### story 02

#### 航空宇宙産業の未来を切り拓く

名古屋周辺に航空機生産拠点が集中する理由は、初期の飛行機に良質な木材が使われていたから。大正9年(1920年)に三菱内燃機製造が名古屋工場(後の三菱重工業名古屋航空機製作所)を設置し、愛知時計電機が航空機の製造を開始。昭和37年(1962年)には、戦後初の国産旅客機「YS-11」が名古屋空港(現県営名古屋空港)で試験飛行を開始した。現在、愛知県は「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」を推進。ボーイング787の機体構造、国産ロケットの開発が活発に行われている。航空機産業は部品点数が多く技術分野の裾野が広いため、環境や情報、材料など他産業への波及効果が期待される。

#### コラム

つい話したくなる  
小ネタ

#### ロボットの原点はからくり人形!?

江戸時代初期から中期にかけて発展したからくり人形。代表作「茶運び人形」は、茶たぐに茶碗をのせると前進。茶碗を取ると止まり、再びのせるとUターンして戻っていく。ぜんまいで動き、歯車などで動きを制御する仕組みは、まさに江戸のロボット。芝浦製作所(現東芝)の創業者で、東洋のエジソンと呼ばれた田中久重もからくり人形を製作していた。



#### 12 フライト・オブ・ドリームズ

中部国際空港セントレアに併設された「フライト・オブ・ドリームズ」1Fのフライトパークには、ボーイング787初号機であるZA001を展示。飛行中の状態をリアルに再現したコックピットの見学もできる。

愛知県常滑市セントレア1-1  
☎0569-38-1195 🕒年中無休





⑧ 木からの発展を学べる、産業観光スポットを紹介!



13 豊田市小原和紙のふるさと

#和紙原料見本園  
#遊歩道  
#四季桜まつり



14 IMASEN 犬山からくりミュージアム

#茶運び人形の実物  
#からくり文化の発信基地  
#からくり人形師 九代玉屋庄兵衛



15 リニア・鉄道館

#重要文化財  
#日本最大級鉄道ジオラマ  
#世界最速車両の展示  
#ミュージアムショップ



16 あいち航空ミュージアム

#滑走路まで300m  
#本格フライトシミュレーター  
#屋上展望デッキ

13 豊田市小原和紙のふるさと  
和紙を芸術作品にまで発展させた、豊田小原和紙工芸。園内には、創始者藤井達吉の美術品を展示する小原和紙美術館、和紙工芸の制作体験ができる和紙工芸体験館などがある。

愛知県豊田市  
永太郎町洞216-1  
☎0565-65-2151  
🕒月曜(祝日の場合は開館)。  
年末年始



14 IMASEN  
犬山からくりミュージアム  
犬山祭の車山からくりや座敷からくりなど、からくり文化にまつわる資料を展示する。からくり人形の実演や、九代玉屋庄兵衛による制作風景の公開(金・土)も。

愛知県犬山市犬山北古券8  
☎0568-61-3932  
🕒12/29~31



15 リニア・鉄道館  
日本経済を支える鉄道に成長した東海道新幹線を中心に、在来線や超電導リニアの展示を通して、高速鉄道技術の進歩を紹介。木製車両の展示もある。

愛知県名古屋港区  
金城ふ頭3-2-2  
☎052-389-6100  
🕒火曜(祝日の場合は翌平日)。  
年末年始ほか



16 あいち航空ミュージアム  
名古屋空港で初飛行をしたYS-11など愛知ゆかりの実機を展示。パイロットシミュレーター体験や映像で空を飛び気分が楽しめるフライングボックスなど、体験プログラムも充実。

愛知県西春日井郡豊山町豊場  
(県名古屋空港内)  
☎0568-39-0283  
🕒火曜(祝日の場合は翌日)。  
年末年始



もっと深く、まだまだ面白い愛知



#国産初のバイオリン  
#世界的弦楽器メーカー  
#アインシュタイン博士も絶賛  
#100年以上伝わる伝統技術



17 鈴木バイオリン製造

明治20年(1887年)、創業者鈴木政吉が初めて国産バイオリンを製造。現在も、日本のバイオリン王と呼ばれる政吉の技術を受け継ぐ職人たちが、高品質のバイオリンや弦楽器の製造に取り組んでいる。小学生以上限定で、製造現場の見学(要電話予約、条件あり)もできる。

愛知県大府市  
桃山町2-23-1  
☎0562-57-5245  
🕒土曜、日曜、祝日、  
年末年始





# 土の章

## 千年以上の歴史が 世界を魅了する。

### story 01

#### 粘土の特徴を生かした個性的なやきもの

豊富な原料を有する愛知県は陶器生産が盛ん。特に陶器、磁器の両方を生産する希少な地域となっている瀬戸では、良質な粘土を用いて、絵付けや釉薬による装飾を施した製品を生み出してきた。明治時代以降は、工業製品・衛生陶器・ノベルティを手掛けるなど、幅広いやきものを生み出す産地として存在し続けている。一方、知多半島では、平安時代末期から鉄分を多く含む粘土を生かした常滑焼が発展。鎌倉時代には大型の甕かめがつくられ、廻船で全国各地へ運ばれた。江戸時代後期以降は、土管や朱泥茶器などが生産されるようになった。同じく江戸時代後期に尾張地方で誕生した七宝焼は、金属の表面にガラス質の釉薬をのせて焼き付けたもの。七つの宝石にも負けない美しさをもつやきものとして、世界的に高い評価を受けている。



画像提供＝瀬戸焼振興協会

### コラム

つい話したくなる  
小ネタ

#### 絵付け技術が電子部品材料へ

スマートフォンやパソコン、自動車などに欠かせないノリタケカンパニーリミテドの電子部品材料「電子ペースト」。金属や樹脂などさまざまな材料を混ぜてつくるのだが、元々は絵付けの技術。1919年に国産化に成功した「水金液」など、陶磁器の絵の具を応用した技術が精緻な電子部品づくりに生かされている。

### story 02

#### 陶磁器で培った技術が産業創造に貢献

明治時代以降、瀬戸から近い名古屋市東北部には絵付け工場や貿易商社が集まり輸出陶磁器の拠点に。華やかな名古屋絵付けは、海外でも人気を博した。大正3年(1914年)に、日本陶器(現ノリタケカンパニーリミテド)が白色硬質磁器製として国内初のディナーセットを完成させアメリカへ輸出した。大正13年(1924年)には、土管や半磁器タイルを生産する伊奈製陶(現LIXIL)が常滑に設立。戦後には、多くの企業がセラミックス産業に進出し、自動車エンジン周りに使用されるセラミックターボチャージャーなどの開発に成功。土から生まれた独自のセラミックス技術は、自動車や航空宇宙産業の発展に貢献している。

 土からの発展を学べる、産業観光スポットを紹介!



**18 愛知県陶磁美術館**

- #日本最大級やきものミュージアム
- #古今東西の陶磁器
- #気軽に陶芸体験



**19 あま市七宝焼アートヴィレッジ**

- #伝統的工芸品
- #尾張七宝体感施設
- #七宝産業の発祥の地



**20 ノリタケの森**

- #赤レンガ棟
- #煙突モニュメント
- #オールドノリタケ
- #アウトレット



**21 INAXライブミュージアム**

- #登録有形文化財
- #近代化産業遺産
- #世界最古のタイル
- #帝国ホテル旧本館

**18 愛知県陶磁美術館**

国内外のやきもの8,000点を収蔵するミュージアム。本館2Fでは、縄文時代から明治までの愛知県のやきもの歴史を紹介する。初心者でも気軽に陶芸体験(有料、要予約)ができる。

愛知県瀬戸市南山口町234  
☎0561-84-7474  
📅月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始



**19 あま市七宝焼アートヴィレッジ**

「尾張七宝」をテーマにした総合施設で、製作工程や作品を間近で見学できる。キーホルダーやアクセサリなどオリジナルの七宝焼作りが楽しめる、七宝焼体験教室(有料)も。

愛知県あま市七宝町遠島十三割2000  
☎052-443-7588  
📅月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始



**20 ノリタケの森**

本社工場敷地を利用した陶磁器の複合施設。食器の製造工程の見学や絵付け体験(有料)ができるほか、併設するノリタケミュージアムではオールドノリタケの鑑賞ができる。

愛知県名古屋市西区則武新町3-1-36  
☎052-561-7114  
📅月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始※施設により異なる



**21 INAXライブミュージアム**

土管を焼いた大正時代の工場を公開する「窯のある広場・資料館」、紀元前から近代までの装飾タイルを収蔵する「世界のタイル博物館」などが点在。F・L・ライト設計の帝国ホテル旧本館に使用された建築陶器も展示。

愛知県常滑市奥栄町1-130  
☎0569-34-8282  
📅水曜(祝日の場合は開館)、年末年始



もっと深く、まだまだ面白い愛知



#職人さんとノベルティ体験

**22 ノベルティ・子ども創造館**

陶磁器製の置物や装飾品であるノベルティは、明治時代から続く瀬戸の主要製品のひとつ。精巧な技術によって誕生した製品は、世界に輸出されてきた。ノベルティの工場跡地を利用した施設で、職人と一緒にノベルティ体験(有料)ができる。

愛知県瀬戸市泉町74-1  
☎0561-88-2668  
📅月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始




#名古屋絵付  
#輸出陶磁器専門の美術館

**23 横山美術館**

明治・大正時代に名古屋周辺で制作された、欧米向け輸出陶磁器の里帰り品を中心に展示。美術工芸品としての評価も高く、まとまった作品群を目にする機会が少ない眞葛焼など、貴重な作品も。不定期に絵付け体験(有料)なども開催する。

愛知県名古屋市東区葵1-1-21  
☎052-931-0006  
📅月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始







## 発酵の章

# 江戸の食を支えた 醸造・発酵の文化。

### story 01

#### 海運ネットワークで全国へ

古くから味噌や醤油、みりん、酢などの醸造業が盛んな三河・知多地方。江戸後期には、知多半島を拠点にする尾州廻船の商人たちが食品を甕に入れて全国に流通させた。正保2年(1645年)、カクキューの創業者が岡崎城から西へ八丁の距離にある八丁村(現岡崎市八帖町)で八丁味噌の製造を開始。大豆と塩のみを原料に、天然醸造で2年以上熟成させた味噌は三河武士の兵糧として重宝された。半田や常滑では尾張藩が酒造りを奨励し、寛文5年(1665年)に盛田家が清酒の醸造を開始。盛田家からはソニーや敷島製パンの創業者が輩出されている。文化元年(1804年)創業のミツコンは、酒造業のかたわら製造していた粕酢が江戸で流行中の早ずしに使用され、酢の生産量を拡大することとなった。

#### コラム

つい話したくなる  
小ネタ

#### カクキューが岡崎電灯を支援

中部電力で現存する最古で最小の水力発電所「岩津水力発電所」。数々の失敗や、長距離送電に対して不安を抱える村民の説得など、困難を乗り越えて明治30年(1897年)に完成。しかし当時、前身となる岡崎電灯は、市内に電線路を張り巡らすための資金が不足していた。カクキュー16代の早川休右門が多額の支援を行うことで、架線工事を無事進めることができた。

### story 02

#### 海外でも大人気の「MATCHA」

愛知県の特産品である抹茶。抹茶の原料となるてん茶の生産量は全国4位\*で、高品質な抹茶としてパティスリー・サダハル・アオキ・パリなど有名パティスリーにも支持されている。その歴史は古く、産地の西尾では文永8年(1271年)創建の実相寺境内に開祖聖一國師が最初の茶種をまいたといわれる。生産が本格化したのは、明治時代に入ってから。紅樹院の住職が宇治から茶種と製茶技術を持ち帰り、多くの農家が栽培を開始。大正時代後期にはてん茶の栽培が主となり、日本有数の抹茶の産地となった。ほかにも温暖な気候と立地条件に恵まれた三河地方では、ビニールハウスなどを使用した施設園芸が盛ん。キクやバラ、カーネーションなどの花き、洋ランや観葉植物などの鉢物、ミカンやイチゴなどが全国に流通している。

\*令和2年(2020年)産、全国茶生産団体連合会調べ



画像提供=パティスリー・サダハル・アオキ・パリ(バンブー)

**🏠 発酵からの発展を学べる、産業観光スポットを紹介!**

**24 カクキュー八丁味噌(八丁味噌の郷)**



#愛知県初 国の登録有形文化財  
#木桶仕込み  
#味噌ソフトクリーム  
#二夏二冬天然醸造で熟成  
#純情きらり

**25 盛田 味の館**



#盛田昭夫常設展  
#たまりソフトクリーム  
#限定商品販売

**26 MIZKAN MUSEUM**



#日本唯一 酢の博物館  
#ミツカン創業の地  
#すしの行列

**27 抹茶ミュージアム「西条園 和く和く」**



#体験型抹茶ミュージアム  
#地域ブランド  
#抹茶スイーツ

**24 カクキュー八丁味噌 (八丁味噌の郷)**

八丁村(現岡崎市八帖町)で誕生した八丁味噌。江戸時代から続く伝統製法を守り続けている。味噌蔵や史料館をガイドが案内する工場見学、八丁味噌のグルメが楽しめるお食事処も。

愛知県岡崎市  
八帖町字往還通69  
☎0564-21-1355  
📅12/31、1/1



**25 盛田 味の館**

170年前の醸造蔵を改装した館内には、杉樽がズラリ。酒、みその製造工程をビデオで紹介するほか、隣接工場で製造した味噌を使用した料理も味わえる。

愛知県常滑市小鈴谷字脇浜10  
☎0569-37-0733  
📅火曜、水曜、お盆、年末年始



**26 MIZKAN MUSEUM**

酒造りの過程で出る酒粕を原料にした粕酢から始まったミツカンの歴史と、寿司や鍋料理を中心とした食文化を紹介。運河沿いに立ち並ぶ蔵の風景は、江戸時代の趣を感じる。

愛知県半田市市中村町2-6  
☎0569-24-5111  
📅木曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



**27 抹茶ミュージアム「西条園 和く和く」**

西尾市でもっとも歴史ある老舗茶舗あいやが運営する抹茶体験ミュージアム。オリジナルにブレンドした茶葉を、昔ながらの石臼でひき、茶室で抹茶を点てる体験コースが人気。

愛知県西尾市上町横町屋敷15  
西条園あいや本店 敷地内  
☎0563-77-6572  
📅年末年始



**もっと深く、まだまだ面白い愛知**



#本格ドイツビールがベース  
#バリ万博金賞  
#明治時代のレシピを忠実に再現

**28カプトビール名古屋支店 納屋橋トワイロ**

半田市で明治22年(1889年)から半世紀だけ生産され、幻のビールとも呼ばれるカプトビール。当時は日本五大ビールの一銘柄として愛された。平成17年(2005年)に復刻したカプトビールの、希少な生が味わえる。堀川を横に眺める絶好のロケーションで、明治時代にタイムスリップしてみても。

愛知県名古屋市中村区名駅南1-1-17  
☎052-541-7813  
📅日曜、祝日、年末年始




#粕酢 赤酢  
#江戸時代の握りずしの現代版

**29 尾州早ずし**

江戸時代、早ずし(握りずしの原型)の流行を支えたミツカンの粕酢。当時のレシピをもとに、現代版にアレンジした「尾州早ずし」が、半田市の飲食店に登場。ミツカンの粕酢「三ツ判®山吹®」を使用し、大きさは現在の2.5倍、仕込みのタネを使用する、などの特徴がある。

寿司会席 真砂本店  
愛知県半田市北二ツ坂町2-15-3  
☎0569-21-0547 📅木曜

※他の店舗情報はHPをご確認ください。







# 温故知新の章

各土地にいにしえから受け継がれる文化や技術は、

## 30 徳川美術館

徳川家康の遺品を中心に、尾張藩初代藩主・義直以降代々の大名道具1万件余りを取める。巻物装へ改装された国宝「源氏物語絵巻」も。愛知県名古屋市中区徳川町1017  
☎052-935-6262  
🕒月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始



## 31 瀬戸蔵ミュージアム

旧尾張瀬戸駅、やきもの工場(モロ)、石炭窯、煙突が再現された館内で、瀬戸のやきものづくりを体感。古墳時代から現代まで、約1,000点の資料も展示されている。

愛知県瀬戸市蔵所町1-1  
☎0561-97-1190  
🕒月1回程度の臨時休館あり、年末年始



## 32 蟹江町観光交流センター祭人

2Fの須成祭ミュージアムでは、祭りの道具やVRなど映像技術で祭りを紹介。1Fの観光交流拠点では、町の特産品販売コーナーやカフェを併設。愛知県海部郡蟹江町大字須成字川西上371  
☎0567-58-3310  
🕒月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始



## 33 三州足助屋敷

茅葺き屋根の母屋など、明治から昭和にかけての農家の暮らしを再現。中山間部に伝わる機織りややら細工などの手仕事体験(有料)も。愛知県豊田市足助町飯盛36  
☎0565-62-1188  
🕒木曜(祝日の場合は全曜日)、年末年始



#日本一の大名道具  
#御三家筆頭  
#尾張徳川家の伝来品  
#国宝



#せともの  
#日本遺産  
#六古窯  
#レース人形



#蟹の名がつく唯一の市町  
#ユネスコ無形文化遺産  
#100日続く祭  
#白イチジクグルメ



#民俗資料館  
#藍染  
#五平餅  
#炭焼き

### コラム

## 愛知のユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」

平成28年(2016年)、東北から九州まで18府県33件の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録された。そのうち山車まつりが盛んな愛知県からは、最多の5つが選ばれている。郷土固有の伝統文化として受け継がれる祭礼の山車には、木工や金工、漆、染色などの工芸技術が見られる。

津島市  
愛西市



おわりつしまでんのうまつり だんじりぶねぼうじ  
尾張津島天王祭の車楽舟行事  
日本三大川まつりのひとつ。多くの提灯をつけた5艘のまきわら船が津島苗を奏でながら天王川を漕ぎ渡る。



開催日 毎年7月第4土曜と翌日曜

知立市



ちりゅう だしぶんらく  
知立まつりの山車文楽とからくり  
高さ7m、重さ5tの山車5台が町内を巡行。知立神社に宮入後、山車の台上では山車文楽とからくりの上演が行われる。



開催日 毎年5/2・3



現在、そして未来の私たちの豊かな生活を支えてくれる。



34 デンソーギャラリー

- #シミュレーター
- #交通事故のないクルマ社会
- #QRコード
- #インタラクティブシアター



35 高浜市やきものの里かわら美術館

- #三州瓦
- #鬼師
- #江戸時代に瓦を積んで運んだ千石船
- #日本で唯一のかわらがテーマの美術館



36 鉱山探検&コスメ作り体験naori

- #鉱山探検
- #手押しトロッコで探掘
- #手作りコスメ
- #日本で唯一のビューティーツーリズム



37 道の駅したら「ほうらいせん酒らぼ」

- #150年以上続く酒蔵
- #関谷醸造
- #奥三河郷土館
- #豊橋鉄道田口線の木製車両\_モハ14形

34 デンソーギャラリー

デンソー本社にある総合展示ホールで、クルマにかかわる最先端の製品や技術を展示する。運転を体験できるブースや、産業用ロボットのデモンストレーションも。

愛知県刈谷市昭和町1-1  
☎0566-61-7215

🕒土曜、日曜、会社休日



35 高浜市やきものの里かわら美術館

瓦の生産量日本一を誇る三州瓦の産地、高浜市の美術館。常設展示では、アジアの古代瓦を中心に、現代の鬼瓦職人による飾り瓦や資料など、瓦の魅力を歴史とともに紹介。

愛知県高浜市青木町9-6-18

☎0566-52-3366

🕒月曜、火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始



36 鉱山探検&コスメ作り体験naori

日本で唯一、ファンデーションの原料となるセリサイト(絹雲母)を採掘している鉱山を見学。その後、セリサイトを使ったオリジナルのファンデーションが作れる(有料、要予約)。

愛知県北設楽東栄町  
下田字野山13-7

☎0536-78-5102



37 道の駅したら「ほうらいせん酒らぼ」

令和3年(2021年)に誕生した道の駅で、地元産の米を使用した日本酒の仕込み作業体験や甘酒教室(各有料、要予約)を開催。道の駅内の清瀬市場では、オリジナルの日本酒を販売。

愛知県北設楽郡設楽町  
清崎字中田17-7

☎0536-62-1017



犬山市  
いなびりまつり やまびょうじ  
犬山祭の車山行事

桜の季節に行われる針綱神社の祭礼。豪華な車山の上で、江戸時代から伝わるからくり人形の演技を奉納する。



開催日 毎年4月第1土曜と翌日曜



半田市  
かめざきおひまつり だしぼょうじ  
亀崎潮干祭の山車行事

坂を駆け下りる山車が波打ち際に方向を変え、水しぶきを上げながら海に突進する豪快な海浜曳き下るしは必見。



開催日 毎年5/3・4



蟹江町  
すなりまつり だんじりぶねぼょうじ みよしなが  
須成祭の車楽船行事と神渡流し

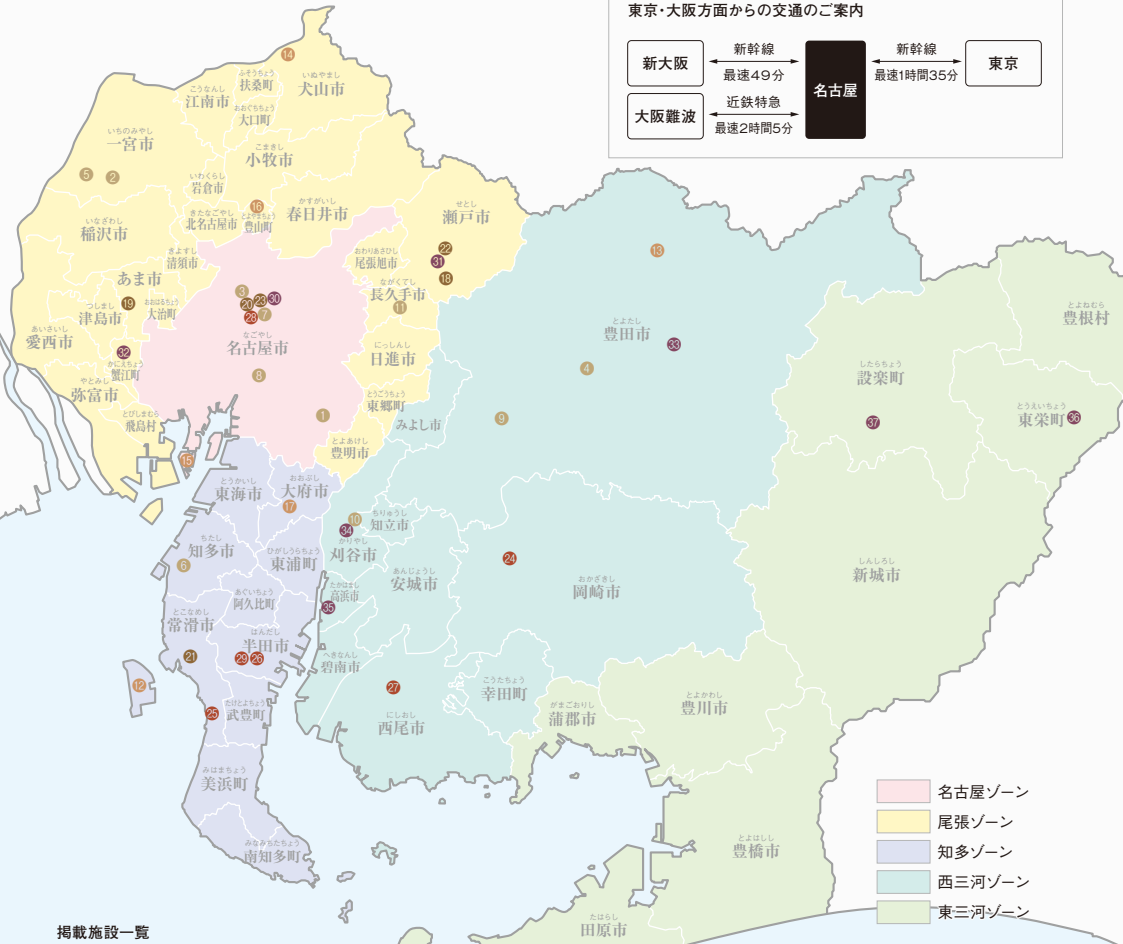
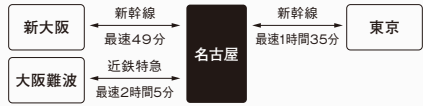
宵祭では、提灯を付けた巻藁船が祭囃子を奏でながら蟹江川を上る。途中の御殿橋では、通過時に橋桁が上げられる。



開催日 毎年8月第1土曜と翌日曜

# Access Guide

東京・大阪方面からの交通のご案内



掲載施設一覧

<p><b>P.04</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 有松・鳴海紋会館</li> <li>2 一宮市博物館</li> <li>3 トヨタ産業技術記念館</li> <li>4 トヨタ鞍ヶ池記念館</li> <li>5 尾州のカレント</li> <li>6 新見本工場</li> <li>7 手織りの里</li> <li>8 木綿蔵・ちた</li> </ul>	<p><b>P.06</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9 マザック工作機械</li> <li>10 キャララー</li> <li>11 フラザー</li> <li>12 ミュージアム</li> <li>13 トヨタ会館</li> <li>14 コムセンター</li> <li>15 トヨタ博物館</li> </ul>	<p><b>P.07-08</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>16 フライト・オブ・ドリームズ</li> <li>17 豊田市</li> <li>18 フラザー</li> <li>19 IMASEN 犬山</li> <li>20 からくりミュージアム</li> <li>21 リニア・鉄道館</li> <li>22 あいち航空</li> <li>23 ミュージアム</li> <li>24 鈴木バイオリン製造</li> </ul>	<p><b>P.10</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>25 愛知県陶磁美術館</li> <li>26 あま市七宝焼</li> <li>27 アートヴィレッジ</li> <li>28 ノリタケの森</li> <li>29 INAX</li> <li>30 ライブミュージアム</li> <li>31 ノベルティ・</li> <li>32 こども創造館</li> <li>33 横山美術館</li> </ul>	<p><b>P.12</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>34 カクキュー八丁味噌</li> <li>35 (八丁味噌の郷)</li> <li>36 アート 味の館</li> <li>37 MIZKAN MUSEUM</li> <li>38 抹茶ミュージアム</li> <li>39 「西条園 和く和く」</li> <li>40 カブトビール名古屋支店</li> <li>41 納屋橋トワイロ</li> <li>42 尾州早すし</li> </ul>	<p><b>P.13</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>43 徳川美術館</li> <li>44 瀬戸蔵ミュージアム</li> <li>45 蟹江町観光</li> <li>46 交流センター-祭人</li> <li>47 三州足助屋敷</li> </ul>	<p><b>P.14</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>48 デンソーギャラリー</li> <li>49 高浜市やきもの里</li> <li>50 から美術館</li> <li>51 鉱山探検&amp;</li> <li>52 コスメ作り体験naori</li> <li>53 道の駅したら</li> <li>54 「ほうらいせんらぼら」</li> </ul>
---	---	---	--	--	--	--

発行 愛知県観光コンベンション局観光振興課

愛知県の公式観光ガイド

監修 名古屋学院大学 現代社会学部教授 笠井 雅直  
名古屋学院大学 現代社会学部教授 古池 嘉和

Aichi Now

<https://www.aichi-now.jp/>



\*掲載している施設や見学イベントは、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で休館または変更・中止になる場合があります。見学には入館料や事前の予約が必要な施設もあります。詳細は、お出かけ前にご確認ください。